

手をつなぐ

題字 藤本利夫著

〈1988年7月9日創刊〉
 発行2016年12月1日 〈毎月1日発行〉
滋賀県民主教育研究所
 〒520-0052 大津市朝日が丘1丁目
 11-3 教育文化会館2F
 TEL & FAX 077-525-5364
 教育110番 077-523-3715
 e-メール shiga.minken@gmail.com
 HP: http://shiga-minken.jimdo.com/
 振替口座番号(会費振込にご利用ください)
 ① ゆうちょ銀行/記号番号01070-5-40576
 ② 滋賀銀行本店営業部/普通口座511256
 加入者(口座)名 滋賀県民主教育研究所

忙しい子どもたち…けれども学童保育にはあそびに夢中の子どもたちの姿がある

大津 学童保育指導員 竹中 真美

この頃の小学生はとても忙しい。

授業時間が増え1年生も毎日5時間授業。2年生は6時間授業の日もある。放課後(課業から放たれた後の時間)は確実に短くなってきている。

これは、学童保育指導員にとっては、悩みの種。「おっ、子どもたち早く帰っておいで〜!」と小学校に向かって叫びたい気分である。そのうえ子どもたちにはさらに習い事やスポーツクラブ、そして学習塾などが待っている。週末の帰りの会で子どもたちに「今週もお疲れさん。休日ゆっくり休んで家族と楽しくすごしてね。」と伝えると、「無理やで〜。土曜日も習い事が二つあるもん」という子どももいる。(ほんまにお疲れさんやなあ…)

学童保育の生活の中心は何と言っても『あそび』。異なる学年の子どもたちがドッジボールや野球、鬼ごっこや大縄跳びなどを思い思いに楽しんでいる。けれどもここでも最近の

子ども事情を垣間見る会話が聞こえてくる。平日は、あそびが盛り上がったころに「帰りの会やで〜。片づけてください。」となってしまう。鍋やお皿やたくさんの道具を並べてままごとをしていた1年生の男女5人。片づけながら、「明日も続きするし、この(砂で作った)ケーキ、倉庫の下に隠しとこ。またいつしよに遊ぼな。」と誰かが言ったのだが、「でも、ぼく、明日習い事やし、ガクドウ休むねん。またあさつて寄せてくれる?」と男の子が返事をしていった。無邪気に「また明日ね!」と言えない子どもたち。近くで聞いていた私は複雑な気持ちになってしまった…。

待ちに待った夏休みになった。夏休みはたつぷり遊ぶ時間がある! 夏ならではの行事や取り組みもあるが、やはり日常のあそびを心行くまで満喫してほしい。軒下でおしゃべりしながらの泥団子作り、何日もかかっ

て編むミサンガ、ひたすら技の練習をするけん玉、汗をダラダラ流しながらの野球などなど。暑くても際限なく遊び続けるのが子どもであり、そのなかで仲間関係がぐっと深まり、あそびの楽しさを体感し、あそびのなかでの達成感や「自分もなかなかのもんや。」という自己肯定感を育んでいく。指導員は子どもとあそびこむなかで、日頃は見えていなかった子どもたちが一人ひとりの新たな姿を発見することができる。地域の子どもたちが「寄せて〜。」とやってくることもあり、学童保育のあそびはさらに盛り上がっていく。

(たけなか まみ)

《 今月の紙面 》

- ・忙しい子どもたち…けれども学童保育にはあそびに夢中の子どもたち…P1
- ・多忙化と子ども理解のはざままで思うこと／森野 京夢 …P2, 3
- ・滋賀県内の戦争遺跡が語るもの2／水谷 孝信 …P4, 5
- ・滋賀みんけん市民講座「折り紙で考える数学の世界」①、②を終えて／森原 則男 …P6
- ・子どもの居場所って何ですか?／岡本 一郎 …P7
- ・滋賀の教育動向 9・10月 …P8